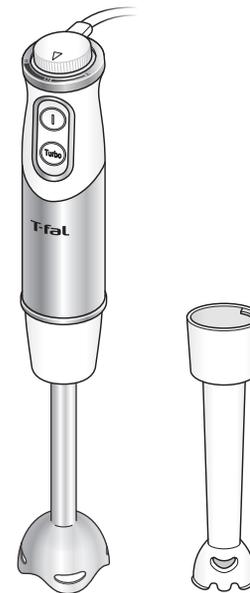


取扱説明書/保証書

T-fal®

## ハンドブレンダー ベビー

HB65GDJP  
HB65G1JP



Ref:8020004182  
キリン線

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様  
相談センター



**0570-077772**

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文  
センター



**0570-086072**

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

修理センター

※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。  
※ 商品により部品としての取り扱いのない場合がございます。

- お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

# 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いいただく方やほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

● 本製品は家庭用です。業務用または一般家庭以外での使用や取扱説明書の指示に反する使用について、弊社は一切の製造責任と保証の責任を負いかねます。

## 絵表示の例



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が表記されています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が表記されています。



## 警告

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

## 電源・電源コード



指示

**定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する**  
他の機器と併用すると、発熱による火災や故障の原因になります。

● 延長コードも定格15Aのものを単独でお使いください。



## 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



禁止

## ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



## 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

## タコ足配線はしない

火災の原因になります。



指示

## 電源プラグは根元までしっかりと差し込む

差し込みが十分でない場合、感電・発熱による火災の原因になります。

● 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。



## 使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社お客様相談センターまでご相談ください。

## お取り扱い



分解禁止

## 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造しない

発火したり、異常作動をしてけがをするおそれがあります。



禁止

## 本体を水につけたり、浸したりしない

ショート・感電の恐れがあります。

## 子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない

やけど・感電・けがをするおそれがあります。



指示

## 本製品で子供が遊ばないように十分に注意する

やけど・感電・けがをするおそれがあります。



禁止

この機器は、安全面の責任を持つことができる人が一緒の場合を除き、子ども、高齢者、障害がある人が使うことを想定していません。

やけど・感電・けがをするおそれがあります。



**注意** 誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性及び物的損害が想定される内容です。

### 電源・電源コード



使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

けがをしたり、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

コンセント  
からはずす

以下の場合には電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れするとき
- 本体にアタッチメントを着脱するとき
- その場を離れるとき

感電やけがをするおそれがあります。



指示

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火するおそれがあります。

### お取り扱い



禁止

不安定な場所や、すべりやすい物の上、水しぶきがかかる場所で使わない

製品が落下して故障したり、けがをするおそれがあります。

ブレンダー、離乳食ブレンダーの刃は鋭利なので、刃に直接手を触れない

けがをするおそれがあります。

ストーブやガスコンロなど熱源のそばで使わない

製品のプラスチック部分が熱で破損することがあります。

製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしない

けがをしたり、故障の原因になります。



禁止

定格時間以上連続動作させない

モーターが過熱し、故障の原因になります。

製品にはモーター保護装置がついており、モーターに負担がかかると保護装置が働き運転が止まりますが、故障ではありません。運転が止まった場合は、モーターが冷めるまで20分ほど待ってから使用してください。

ブレンダー／離乳食ブレンダーの回転が止まるまでは、刃を液面（材料）から上に持ち上げない

材料が飛び散るおそれがあります。

加熱調理中のなべのふちなどに製品が触れないようにする  
製品が熱により破損するおそれがあります。

付属のアタッチメント以外は使用しない

けがをしたり、故障の原因になります。

調理以外の目的に使用しない

けがをするおそれがあります。



指示

ブレンダー／離乳食ブレンダーを加熱調理中のなべに直接入れて使用する場合は、必ず火を止めてから使用する。また、刃が液面から出ないように注意する

回転している刃が液面より上に出ると、熱い材料が飛び散ってやけどをするおそれがあります。

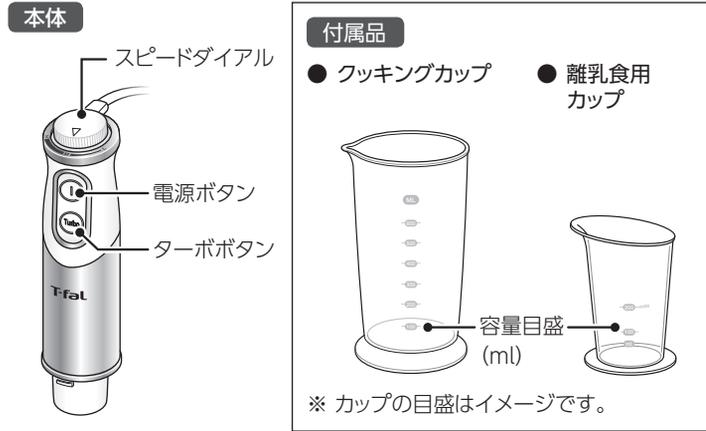
調理に適したアタッチメントを正しくセットする

けがをするおそれがあります。

## 使用上の注意

- 本製品は必ず屋内で使用してください。
- 本製品は一般家庭用です。

## 各部の名称と機能



## 調理のポイント

アタッチメント	機能	レシピ例
ブレンダー	柔らかい材料や液体を混ぜたりつぶしたりする	● ポタージュース ● 水分を加えて作るジュース ● マヨネーズ ● ドレッシング
離乳食ブレンダー	離乳食用の柔らかい材料や液体を混ぜたりつぶしたりする	● 10倍がゆ ● 野菜スープ

### 禁止材料

下記の材料を入れると、各アタッチメントや専用カップ等の破損の原因になります。

禁止材料	禁止の理由
コーヒー豆	硬い
硬い乾物類 (乾燥大豆・だし昆布・煮干し・あごなど)	
氷	
ターメリック (ウコン)	
砂糖	
チョコレート	粘り気が強い
パン生地・パスタ生地	
納豆	
じねんじょ・つくねいも・いちょういも	

# 基本的な使い方

はじめてお使いになるときは、ブレンダー、離乳食ブレンダーを洗剤で洗い、乾かします。また、本体以外は食器洗浄乾燥機もご使用いただけます。

## ハンドルの持ち方

親指で電源ボタンを押し、他の指はハンドルをしっかりと握ります。



## スイッチの入れかた

電源プラグをコンセントに差しこみ、電源ボタンあるいはターボボタンを押すと作動します。安全のため、電源ボタンあるいはターボボタンを押している間だけ作動します。電源ボタンあるいはターボボタンを押したり離したりすることで「パルス運転」をすることができます。

電源ボタン

ターボボタン



連続運転	ボタンを押し続け、連続で刃を回転させます。
パルス運転	1回1秒くらいで「押し—離す」を繰り返して、断続的に刃を回転させます。

ターボボタンを押すと、スピードダイヤルで設定するより速い回転で作動させることができます。瞬間的に回転数を上げたいときなどに使用します。

## スピードダイヤルの使い方

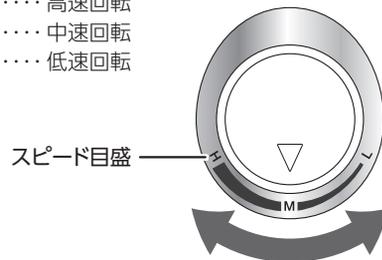
L (低速) ~ H (高速) の間で、回転スピードを調節することができます。

図のように親指でダイヤルを回してスピード目盛をお好みのスピードに合わせます。

H (High) ..... 高速回転

M (Medium) ..... 中速回転

L (Low) ..... 低速回転



## 連続使用時間について

定格時間以上連続で作動させると、モーターに負担がかかり、故障などの原因になりますので、ご注意ください。

以下の定格時間以上連続で作動させないでください。

	ブレンダー	離乳食ブレンダー
連続使用時間 (定格時間)	90秒	90秒

- 定格時間以上ご使用になりたい場合は、定格時間使用後、一度スイッチを切り、しばらくしてからもう一度使用してください。定格時間を超えて使用し、モーターが熱くなった場合は、スイッチを切って20分ほど待ち、モーターが冷めてから使用してください。

# ブレンダーの使い方

お願い

- 定格時間を守り、禁止材料や粘り気の強い食材には使用しないでください。(故障の原因)
- 加熱調理中のなべの中では使わないでください。(やけどの原因)
- 刃を回転させたまま、クッキングカップやなべに出し入れしないでください。(けが・やけどのおそれ)

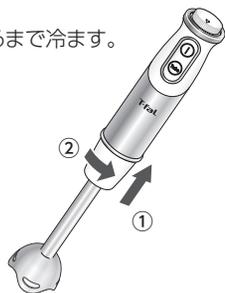
## ■ 食材の下準備

- 食材は2~3cm角程度に切る。(硬い食材の場合は1cm角程度に切る)
- 食材の中に硬い種子がある場合は、取り除き、必要に応じて皮をむく。
- 凍った食材は、半解凍または解凍する。
- 火にかけた食材(60℃以上)は、あらかじめ熱がとれるまで冷ます。

- 1 ブレンダーを本体に取り付け、  
矢印の方向に回して固定します。



注意  
ブレンダーを本体に取り付けるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。



- 2 付属のクッキングカップなどの容器に  
材料を入れます。

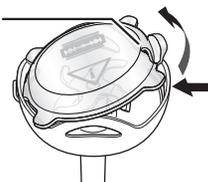
- 材料が飛び散らないように背の高い容器を使用してください。
- 付属のクッキングカップを使用するときは、500ml以上の材料を入れないでください。また、最低200ml以上の材料を入れてください。



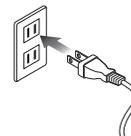
- 注意
- 果物類は、あらかじめスライスし、種子など硬いものを除いてから調理してください。
  - 砂糖、チョコレート、コーヒー豆、氷などの禁止材料には使用しないでください。

- 3 ブレンダーのプロテクターを 切り込み  
取りはずします。

切り込みがある方のタブを押しながら、  
はずします。



- 4 電源プラグをコンセントに差しこみます。



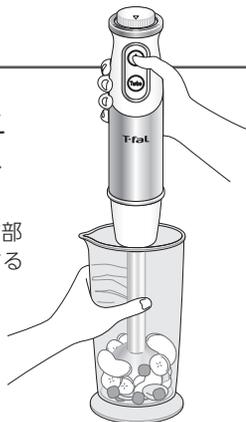
- 5 スピードダイヤルをお好みのスピードに  
合わせます。



## ブレンダーの使い方 (続き)

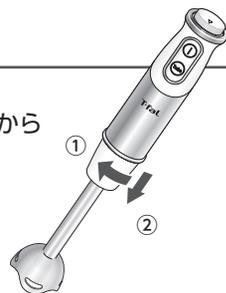
- 6** クッキングカップをしっかりと手で押さえながら、ブレンダーを材料に密着させ、電源ボタンを押して作動させます。

- ブレンダーはあまり動かさずに、ヘッド部分を材料の中に半分沈ませるようにすると、上手に調理することができます。



- 8** ブレンダーを矢印の方向に回して本体から取りはずします。

- ブレンダーはお手入れが終わったら、プロテクターを取り付けて保管してください。



### 注意

- ブレンダーの刃は非常に鋭利ですので、直接手で触れないでください。
- 刃の回転が止まるまでは、ブレンダーを液面(材料)から上に持ち上げないでください。材料が飛び散るおそれがあります。
- 調理中に動作が止まる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、刃に材料が詰まっていないか確認してください。材料が詰まっている場合は、取り除いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 容器が空の状態で作品を作動させないでください。
- 定格時間以上連続で作動させないでください。定格時間を超えて使用し、モーターが熱くなった場合は、スイッチを切って20分ほど待ち、モーターが冷めてから使用してください。
- 加熱中のなべの中に入れて使用する場合は、必ず火を止めてからブレンダーを入れてください。材料が飛び散り、やけどをする原因となります。
- ネギやセロリなどの繊維質が多い材料を調理するときは、こまめにブレンダーを洗浄してください。洗浄するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてブレンダーを取りはずしてください。

- 7** 調理が終わったら、電源プラグをコンセントから抜きます。

### ブレンダー/離乳食ブレンダーの刃の安全な洗い方

ブレンダー/離乳食ブレンダーの刃は、使い終わったあとすぐに以下の方法で洗ってください。

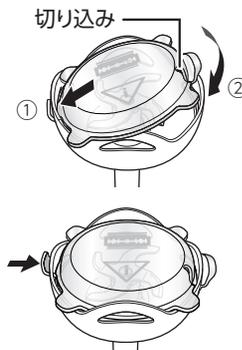
- ① 容器に150mlのぬるま湯を入れ、食器用洗剤を溶かします。
- ② ブレンダー/離乳食ブレンダーを本体に取り付けたまま、容器の底につけます。
- ③ 電源コードをコンセントに差し込み、ターボボタンを10秒間押します。

### ヒント

にんじん、オレンジなどによって製品に色がついて落ちにくい場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから、食用油につけた布で拭いて、通常通り洗ってください。長期間の使用によって色が染み付く場合がありますが、製品の動作には影響ありません。

### プロテクターの取り付け方

- ① 切り込みがない方のタブを先にブレンダーの穴に差し込みます。
- ② プロテクターを上から押して、もう片方のタブをはめこみます。
- ③ 先に入れた方のタブを横から押し、確実に取り付けます。



# 離乳食ブレンダーの使い方

お願い

- 定格時間を守り、禁止材料や粘り気の強い食材には使用しないでください。(故障の原因)
- 加熱調理中のなべの中では使わないでください。(やけどの原因)
- 刃を回転させたまま、離乳食用カップやなべに出し入れしないでください。(けが・やけどのおそれ)

## ■ 食材の下準備

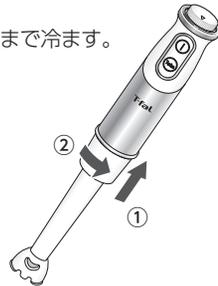
- 食材は1~2cm角程度に切る。(硬い食材の場合は1cm角程度に切る)
- 食材の中に硬い種子がある場合は、取り除き、必要に応じて皮をむく。
- 凍った食材は、半解凍または解凍する。
- 火にかけた食材(60℃以上)は、あらかじめ熱がとれるまで冷ます。

- 1 離乳食ブレンダーを本体に取り付け、矢印の方向に回して固定します。



注意

離乳食ブレンダーを本体に取り付けるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。



- 2 付属の離乳食用カップなどの容器に材料を入れます。

- 材料が飛び散らないように背の高い容器を使用してください。
- 付属の離乳食用カップを使用するときは、200ml以上の材料を入れないでください。また、最低50ml以上の材料を入れてください。

最大量



注意

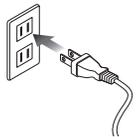
- 果物類は、あらかじめスライスし、種子など硬いものを除いてから調理してください。
- 砂糖、チョコレート、コーヒー豆、氷などの禁止材料には使用しないでください。

- 3 離乳食ブレンダーのプロテクターを取りはずします。

ななめに押し上げてはずします。



- 4 電源プラグをコンセントに差しこみます。



- 5 スピードダイヤルをお好みのスピードに合わせます。



## 離乳食ブレンダーの使い方（続き）

- 6** 離乳食用カップをしっかりと手で押さえながら、離乳食ブレンダーを材料に密着させ、電源ボタンを押して作動させます。

- 離乳食ブレンダーはあまり動かさずに、ヘッド部分を材料の中に半分沈ませるようにすると、上手に調理することができます。



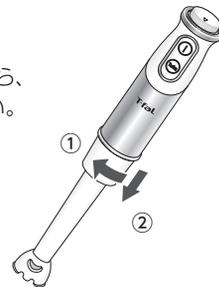
### ！ 注意

- 離乳食ブレンダーの刃は非常に鋭利ですので、直接手で触れないでください。
- 刃の回転が止まるまでは、離乳食ブレンダーを液面（材料）から上に持ち上げないでください。材料が飛び散るおそれがあります。
- 調理中に動作が止まる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、刃に材料が詰まっていないか確認してください。材料が詰まっている場合は、取り除いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 容器が空の状態で作品を作動させないでください。
- 定格時間以上連続で作動させないでください。定格時間を超えて使用し、モーターが熱くなった場合は、スイッチを切って20分ほど待ち、モーターが冷めてから使用してください。
- 加熱中のなべの中に入れて使用する場合は、必ず火を止めてから離乳食ブレンダーを入れてください。材料が飛び散り、やけどをする原因となります。
- ネギやセロリなどの繊維質が多い材料を調理するときは、こまめに離乳食ブレンダーを洗浄してください。洗浄するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて離乳食ブレンダーを取りはずしてください。

- 7** 調理が終わったら、電源プラグをコンセントから抜きます。

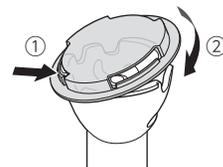
- 8** 離乳食ブレンダーを矢印の方向に回して本体から取りはずします。

- 離乳食ブレンダーはお手入れが終わったら、プロテクターを取り付けて保管してください。



### ■ プロテクターの取り付け方

- ① プロテクターの取り付け穴をプロテクターの溝に差し込みます。
- ② カチッと音がするまでプロテクターを押して取り付けます。



## お手入れの方法

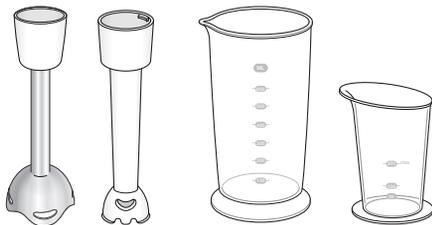


注意

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- シンナー、ベンジン、研磨剤が入ったスポンジ、ステルスたわしなどは使用しないでください。

ブレンダー、離乳食ブレンダー、クッキングカップ、離乳食用カップ

スポンジに食器用洗剤をつけて洗います。  
食器洗浄乾燥機もお使いいただけます。



本体

水洗いせずに湿った布で拭いてください。



## 故障かなと思ったら

こんなとき	対処のしかた
スイッチが入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンセントに電源プラグが差し込まれているか確認してください。</li> <li>● 刃に材料が詰まっている場合は、取り除いてください。取り除くときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</li> </ul>
本体が熱い	<p>定格時間を超えて長時間使用すると、モーターが過熱し、本体が熱くなることがあります。本体が熱くなった場合には、スイッチを切り、モーターが冷めるまで20分ほど待ってから再度使用してください。また、定格時間を超えて使用しないでください。</p>
使用中に運転が止まる	<p>製品にはモーター保護装置がついており、モーターに負担がかかると保護装置が働き運転が止まりますが、故障ではありません。運転が止まった場合は、モーターが冷めるまで20分ほど待ってから使用してください。</p>
思ったように仕上がらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分量が多すぎたり少なすぎたりしないか確認してください。</li> <li>● 材料を適切な大きさに切っているか確認してください。</li> </ul>

## 製品仕様

定格電圧	100V	
定格消費電力	400W	
定格周波数	50-60Hz	
回転速度 (ターボボタン使用時、 無負荷時)	ブレンダー	約13000回/分
	離乳食ブレンダー	約13000回/分
連続使用時間 (定格時間)	ブレンダー	90秒
	離乳食ブレンダー	90秒
質量 (ブレンダー装着時)	約820g	
電源コードの長さ (有効長)	約1.4m	
サイズ (ブレンダー装着時)	幅	約7cm
	高さ	約40cm

### 愛情点検

●長年ご使用のスティックミキサーの点検を!



こんな症状は  
ありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷が付いたり、通電したりしなかったりする。
- 使用中に異常な音がする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へ点検・修理をご相談ください。